

「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団の記録

1. プログラム概要

【目的】

本事業は、中国で教育分野に従事する青年及び文化について学ぶ大学生を訪日招聘し、分団別テーマである「科学・芸術教育」「多文化・伝統文化の継承」のセミナー、視察、交流等を通じて日本の同分野への理解を深めるほか、日本の青年との親睦や、日本の経済・社会・歴史・文化等が体験できる施設等の参観を通じて、対日理解の促進を図るとともに、日中間の友好関係を強めることを目的として、実施しました。

【参加者】中国で教育分野に従事する青年及び文化について学ぶ大学生 50 名

【訪問地】第1分団：東京都、山梨県、静岡県

第2分団：東京都、奈良県、京都府

【日程】

■ プレプログラム

8月20日（火）オンライン事前オリエンテーション

■ 招へいプログラム

8月25日（日）～8月31日（土）6泊7日

日にち	概要
8月20日 プレプログラム	【オンライン事前オリエンテーション】 ① 主催者代表挨拶 ② 団長挨拶 ③ 参加者紹介 ④ 訪日日程説明 ⑤ 注意事項説明 ⑥ アンケート・対外発信・アクションプラン説明 ⑦ 質疑応答
1日目 8月25日	東京国際空港より入国 〈第1分団〉 皇居・二重橋参観、貨幣博物館参観 〈第2分団〉 皇居・二重橋参観、すみだ北斎美術館参観
2日目 8月26日	〈共通〉 【テーマ関連講義】 「畳む文化が育んだおりの新たな可能性」 講師：萩原一郎 明治大学 研究・知財戦略機構 研究特別教授、 東京工業大学 名誉教授 浅草寺、東京タワー参観 【歓迎会】

3 日目 8 月 27 日	〈第 1 分団〉 山梨県へ移動 富岳風穴参観 富士山五合目参観 【テーマ関連視察】 山梨県立科学館視察 〈第 2 分団〉 京都府へ移動 平等院・鳳翔館視察 【日本文化体験】 抹茶体験 奈良県へ移動
4 日目 8 月 28 日	〈第 1 分団〉 【テーマ関連視察】 山梨県立リニア見学センター視察 ① 試験車両の前でリニアの紹介 （リニアの仕組み・超電導について・歴史など） ② 自由視察 【テーマ関連視察・意見交換】 笹子追分人形保存会視察・交流 ① レクチャー ・ 笹子追分人形芝居の概要・歴史笹子追分人形芝居の概要、 歴史についての紹介 ・ 人形頭や人形操車の紹介 ・ 三番叟（さんばそう）の実演 ② 人形操車の体験 ③ 質疑応答 笹一酒造視察 〈第 2 分団〉 【日本文化体験】 手すき和紙製作 【テーマ関連視察】 市立五條文化博物館視察 ① 主な展示の解説 ② 館内・屋外自由視察 吉野山・金峯山寺参観

5 日目 8 月 29 日	〈第 1 分団〉 山梨県立富士山世界遺産センター参観 【テーマ関連視察】 久保田一竹美術館視察 ①レクチャー ・久保田一竹、辻が花染め、一竹辻が花染めの紹介 ・辻が花染め技術の未来への伝承について ②一竹辻が花作品展示室視察 ③館内・屋外自由視察 静岡県へ移動 【ホームステイ体験】（入村式） ① 受け入れ家庭代表挨拶 ② 交流団代表挨拶 ③ 注意事項説明 ④ ホストファミリーと対面 ⑤ 各家庭へ移動 〈第 2 分団〉 【テーマ関連視察】 ボランティアガイドと東大寺大仏殿視察 【テーマ関連視察】 奈良国立博物館視察 奈良公園参観 愛知県へ移動
6 日目 8 月 30 日	〈第 1 分団〉 【ホームステイ体験】（離村式） ① 受け入れ家庭代表感想発表 ② 交流団代表感想発表 ③ 集合写真撮影 ④ ホストファミリーとお別れ 東京都へ移動 都内視察 〈第 2 分団〉 長野県経由で東京都へ移動 【歓送報告会】
7 日目 8 月 31 日	東京国際空港より帰国

2. 記録写真



2024年8月26日【テーマ関連講義】
「畳む文化が育んだおりがみの新たな可能性」



2024年8月27日【日本文化体験】
抹茶体験



2024年8月28日【テーマ関連視察】
山梨県立リニア見学センター視察



2024年8月29日【ホームステイ】
ホストファミリーと夕食づくり



2024年8月28日【テーマ関連視察・意見交換】
簀子追分人形保存会視察・交流



2024年8月29日【テーマ関連視察】
東大寺大仏殿視察

3. 参加者の感想（抜粋）

◆科学と芸術教育、多文化や伝統文化の継承における日本の高度な方法と実践経験を学び、日本の民俗文化を体験し、中日青少年の友好を強化することができました。今回の訪日は文化・科学技術交流の旅であるだけでなく、友好と協力の旅でもあり、科学技術と文化の分野における中日間の協力の可能性を深く感じることができました。若者は中日友好事業に積極的に参加すべきであり、中日友好交流と相互学習を促進するため貢献すべきだと考えます。

◆日本の家庭へのホームステイは一生に一度の体験でした。日本の家族はとてもフレンドリーで、気配りがあり、熱心に私たちの世話をしてくれたので、家にいるような温かい気持ちになりました。また、家長が自ら建てた和風の家泊まり、畳で寝たり、和食を食べたり、入浴したりと、本格的な日本の伝統的な家族生活を体験しました。おしゃべりをしたり、一緒に料理をしたり、入浴等を通じて、一般的な観光やインターネットではなかなか学べない日本の歴史や文化、習慣をたくさん学ぶことができました。

◆ホームステイでは、中国と日本の文化の違いや魅力を深く感じました。食べ物からマナー、生活から仕事まで異なっていますが、これらの違いにより、私たちの交流は目新しさと課題に満ちています。これらの違いがあるからこそ、私たちはお互いの独自性をより大切にし、理解し、一生懸命努力するようになります。私たちはお互いの文化、生活、物語を共有し、深い友情と忘れられない思い出を得ました。私たちがこの友好関係を維持し続け、中日友好と世界平和の促進に共に貢献できることを願っています。

◆日本での文化交流を通じて、日本独自の礼儀作法、精緻な伝統文化、先進的な近代技術の魅力を深く体験し、日本文化の多様性と包容性を深く実感しました。私はこの独特な文化的魅力に魅了され、さまざまな文化的背景に対してより敬意を払い、理解するようにもなりました。このような異文化交流は、私の将来の生活や仕事により多くのインスピレーションと収穫をもたらすと信じています。今回の交流は、私の視野を広げただけでなく、異文化に対する理解と尊敬も深めてくれました。

4. 受け入れ側の感想（抜粋）

◆テーマに関するセミナーでの、共同で折紙を作るセッションについては、訪日団の皆さんが喜々としていました。講演と歓迎会の参加を通して、訪日団の皆さんが楽しんでおられるようで、素晴らしい企画だと思いました。

◆今まで中国の方々の前で追分人形芝居を上演した経験はありましたが、今回のように直接訪日団団員の方々とお話や、体験をしていただいたことは私たち保存会にとりましても、大変貴重な経験となりました。人形を手に取り、人形のからくりや重さなども体験していただき十分理解していただいたと思っています。現在、全国的に低迷している、無形民俗文化財の実情をこれからも多くの方々に発信し、お互いの情報などを共有し、これからもそれぞれの地域に残る文化財材の保存継承活動に取り組んでいきたいと思っています。

5. 参加者の对外発信（抜粋）、報道記事

吸引我的几个方面：

1.多感官体验：比如可以直接看到近距离还可以触摸到火山熔岩树形岩石，会有不同视角的展示方式，有俯视视角或仰视视角展示装置，当想看火山内部结构，就要趴地上，爬进模拟的洞里，很有趣；
2.数字化呈现艺术源泉：通过触控屏选择一幅幅的数字化的名画，从古代到现代的艺术对富士山的艺术创作，见到我喜欢的葛饰北斋创作的夕阳下的红色富士，富士山是给了艺术家很多很多的艺术源泉啊！

3.沉浸式VR体验登顶日本最高峰「富士山」，观日出云海的神奇景象。

4.运用AR可以进行富士巡游，内容是把富士山有渊源的人物形象所描绘AR，在直径18米的地面地图上可以欣赏到古老巡礼路的AR。另外，拿到室外去的话，也可以作为寺社佛阁、湖沼、登山路等名胜解说工具来使用。



魅力的な箇所 1.多感覚体験：例えば火山から出来た溶岩を至近距離で見て触ったり、様々な角度から観察できる展示方法や、火山の内部を見る時は地面に寝転んで模擬洞窟にはいたり、とても面白かったです。 2.芸術のデジタル化：タッチパネルを通して様々なデジタル版名画を閲覧しました。古代をはじめ現代の作家が描く富士山の芸術作品や私の好きな葛飾北斎の赤富士もあり、富士山は芸術家にとって、芸術の源になっているのだと思いました。 3.没入型VRを使い、日本最高峰の富士山から見える日の出、雲海など幻想的な景色を体験しました。 4.ARを使った富士山散策体験では、直径18メートルの地図上に古参道のARが閲覧できました。また、屋外に持ち出せば、社寺仏閣や湖などハイキングコースの名所を説明するツールとしても使えました。

奈良相比东京更静谧且亲近大自然🌿。上午体验了手工制作和纸，拿到自己制作的纸张决定回国就学书法，写到自己做的纸上去😊午餐是很经典的日式便当，在奈良的山中享用！

下午参观了市立五条博物馆，该馆位于日本奈良县五条市，成立的初衷是为了保存和展示五条市丰富的历史文化遗产，并促进当地文化的传播与教育。五条博物馆选址在山中，充分利用了自然环境，与周围的生态系统和谐融合。使游客在参观历史与文化展览的同时，也能感受大自然的静谧与美丽，充分体现了人与自然共生的理念🐼博物馆的展览涵盖了从古代到现代的多个历史阶段，展现了五条市从早期的古代文明到现代化进程中的重要发展节点。☁



奈良県は東京に比べて静かで自然にあふれていました。午前には手すき和紙体験をしました。帰国したら書道を習い、自分が作った和紙に書きたいと思います。お昼ご飯は、奈良の山の中で日本の伝統的なお弁当を食べました。午後に視察した五条文化博物館は、奈良の五条市に位置しており、五条市の歴史文化遺産が残されていて、地域文化の宣伝と、教育を促進するために設立されていました。また、この博物館は山の真ん中に建てられているため、自然環境と周囲の生態系と調和が取れていました。歴史と文化を学ぶと同時に、自然の静けさと美しさを感じることができました。

展示物は、古代から現代までの様々な段階が網羅されており、現代に至るまでの重要な発展の経緯を学ぶことができました。

増進交流 播撒友谊——中国青年公益事业交流团赴日本开展交流访问

中国宋庆龄基金会 2024年08月04日 18:33

8月25日至31日，应日本友好会邀请，中国宋庆龄基金会组织中国青年公益事业交流团赴日本交流访问。来自36家单位的50名青年代表分别走进东京都、山梨县、静冈县、奈良县等地的科学中心、社会企业、艺术机构参访交流，亲身体验日本文化，促进中日青年交流交往，加深两国民间友好。



中国青年公益事业交流团合影

在26日举行的欢迎会上，交流团团长、中国宋庆龄基金会基金部副部长宋健表示，中日是长期友好的邻邦，中日两国青年间的交流交往是两国关系长期持续发展的重要力量，希望两国青年牢记使命，相互学习交流，传承中日友好的接力棒，助力中日民间友好。

日本外务省亚洲大洋洲局中国-蒙古第一地域课副官等方代表日本外务省致辞，鼓励交流团访问日本各界广泛传播，在交流中增进理解、传递友谊，为促进中日友好作出贡献。

日中友好会理事长、日中学院院长高原法雄对交流团的到来表示欢迎，希望中国青年能真切感受到真实的日本，也希望日本的年轻人了解真实的中国，通过交流看到真实的彼此，成为中日友好发展的新桥梁、新纽带。

中国驻日本使馆参赞郭军表示，当前中日关系处在关键阶段，两国青年承担着两国友好的重任，希望大家珍惜交流参访机会，客观认识日本社会，积极同日本各界人士交流，为改善中日关系及增进两国睦邻友好贡献青春力量。

日中友好会理事、众议院议员海江田万里、日中友好会评议员、参议院议员竹谷TOSHIKO等出席欢迎会并致辞。



第一分团参观了山梨县博物馆，了解山梨县的历史和地理知识，并观看了山梨县博物馆的展览。



第二分团参观了奈良县五条市五条文化博物馆，了解奈良县的历史和地理知识，并观看了五条市五条文化博物馆的展览。



第三分团参观了奈良县五条市五条文化博物馆，了解奈良县的历史和地理知识，并观看了五条市五条文化博物馆的展览。



第四分团参观了奈良县五条市五条文化博物馆，了解奈良县的历史和地理知识，并观看了五条市五条文化博物馆的展览。



第五分团参观了奈良县五条市五条文化博物馆，了解奈良县的历史和地理知识，并观看了五条市五条文化博物馆的展览。



第六分团参观了奈良县五条市五条文化博物馆，了解奈良县的历史和地理知识，并观看了五条市五条文化博物馆的展览。

2024年9月4日（中国宋慶齡基金會 wechat ミニプログラム）
「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団の活動内容・成果を紹介。本後の中日友好について、期待している。



首页 > 大使馆行事

在日大使馆の郭軍参事官、「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団歓迎会に出席

2024-08-30 18:00

8月26日、在日大使馆の郭軍・参事官は日中友好会館による「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団歓迎会に出席し、挨拶を述べた。日中友好会館の海江田万里評議員、斎藤法雄理事、中国宋慶齡基金會基金部の宋健部長、日本外務省の等々力地域課副官らが出席し、交流団の青年メンバー50人が参加した。



郭軍氏は、中日両国の友好往來の歴史は長く、青年間の交流は両国関係の安定的かつ持続的な発展を図る上で重大な意義を持つと述べた。郭氏はメンバーに対し、身を入れて観察し日本社会を知り、各界の人々と進んで共に交流し、中国の物語をしっかりと話し、中日関係の発展促進、両国の相互信頼増進に寄与するよう勧めた。

海江田、斎藤両氏は交流団を心から歓迎すると表明した。両氏はこの活動の重要な意義について詳しく語り、団員の皆さんがより多く体験し、考え、両国の平和友好発展のための民意の基礎を固めることに努めるよう希望すると述べた。

2024 年 8 月 30 日（中華人民共和国駐日本国大使館 ホームページ）
郭軍参事官が「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団の歓迎会に出席。中日関係の発展促進、
両国の信頼増進に寄与してほしい。



箆子追分人形保存会

自己紹介

箆子追分人形は、義太夫節を伴奏とした三人遣い様式の人形芝居です。

ページ・非営利団体

山梨県大月市箆子町

www14.plala.or.jp/sasanoko/sasago/ningyo/oiwakeningyo.htm

まだ評価はありません(レビュー0件)

写真

すべての写真を見る





箆子追分人形保存会

8月28日 · 🌐

「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団の25名に遣いを披露しました。

人形の歴史
かしらの製作と種類について
三人遣いの解説
追分の三番唄
寿三番唄
ふれあい
質疑応答
質問も驚くほど多く、遣り甲斐のある会でした。



2024 年 8 月 28 日（箆子追分人形保存会 Facebook）
「JENESYS2024」中国青年公益事業交流団に遣いを披露しました。質問も多く遣り甲斐のある会
でした。

8

6. 報告会での訪日成果とアクション・プラン発表

	
【訪日中の学び】 日本と中国は、どちらもアジア文化の代表的な国ですが、両国は異なる発展段階にあることを学びました。しかし、我々は共に学び合える点が多く、お互いが独自の強みを持っています。相互理解と協力があれば、永続的な関係を築くことが出来ると学びました。 【アクション・プラン】 シンポジウムのような交流を実施し、皆が興味のあるテーマを集め、中日の若者の間でテーマ別の交流を行いたいです。	【訪日中の学び】 日本の建築文化における独特の美学と自然への畏敬の念を深く理解したと同時に、折り紙や茶道、和紙漉きなどの手工芸体験を通じて、日本の伝統工芸の優れた技術や深い文化遺産を鑑賞しました。そして、これらの伝統技術が現代社会に受け継がれ、発展していることを学びました。今回の交流活動は、中国と日本の若者の文化的理解と友情をさらに深め、将来の両国間の文化継承と多文化交流のための強固な基盤を築くことが出来ました。 【アクション・プラン】 日本での経験や写真をまとめて、日本の文化に興味を持つ家族、友人、学生と共有します。また、今回の訪日で足を踏み入れなかった場所に行く旅程を立てます。

実施団体名：（公財）日中友好会館